

「中国（南京）研修 参加報告書」

京都大学農学部1年 （氏名）山田 晃大

- ① 8月22日～26日に中国研修に行きました。この研修のために前期の授業で中国、主に南京市について、歴史や中国国内における経済的立ち位置、天候などを深く調べ勉強しました。その中で得た印象は、南京市は経済的に重要な都市の一つで、発展したところであるに違いないというものでした。実際に現地に行ってみると、大きな建物が数多く立ち並んでいたり、たくさんの車が行きかっていたりと僕の想像を超えるほど都会だと思いました。しかし、最終日に上海に寄ったときにその印象は大きく変わりました。上海は南京とは比べものにならないほどたくさんのお店やたくさんの企業があって、南京が中国の都市の1番ではないということを知りました。南京市は少し田舎じみているからかもしれませんが現地の人たちはとても優しく、中国を話せない僕に対して身振りや紙に書いたりして伝えてくれたのがとても嬉しかったです。それと同時に、もっと中国語を勉強して現地の人の何気ない会話（例えば電車内での隣の人の会話）を理解して現地の人達を身近に感じたいと思いました。まだ後期の授業が残っているので、そこでしっかり勉強したいと思います。また今回と同様に京都大学の海外交流のプログラムを利用して中国語の語学学校に通ってみたいと思います。
- ② 今回の研修の目的は現地の状況を深く理解することです。なので、普通の観光では行かないような場所を訪れたり、現地の人たちとの交流することを積極的にしました。例えば、町の中心部から離れた再開発されていない昔ながらの地域に行きました。そのような地域は家賃などが安いので農村地域から南京に出稼ぎにきている人達が住んだりします。また、その場所は一本の道路を挟んで再開発されている地域があって、リアルな中国の現状をすることができたと思っています。地域の人たちと交流するために、町のおじいさん、おばあさんが健康のためにする朝のダンスに参加しました。太極拳をやっていると勝手に考えていましたが最近ではヒップホップダンスをやるそうです。中国人のおばあさんに囲まれてダンスをするのは少し緊張しましたが、少し身近に感じる事ができてよかったです。よくあんなに朝早くから運動できるなとも思いました。
- ③ 8月22日：浦東空港着—（空港リムジン機場一線）—虹橋空港—虹橋駅で昼食—（高速鉄道）—南京南駅—（タクシー）—南京大学西苑（朱小易海外教育学院長と夕食）—漢口路の蘇果スーパーで買い物—西苑
8月23日：鼓楼二条巷の食料品市場—（市バス31系統）—中山埠頭—（長江フェリー）—浦口埠頭—南京北駅附近の状況を見る—（長江フェリー）—中山埠頭—（市バス34系統）—新街口（地下街を見学して昼食）—（地下鉄2号線で馬群に移動）—馬群で出稼ぎ労働者の居住地域をみる—（地下鉄2号線で南大仙林校区駅に移動）—南京大学仙林キャンパスを見学—（地下鉄2号線で三山街に移動後、徒歩）—中華門—（徒歩）—夫子廟で孔子廟を参観—（徒歩、市バス31系統で大方巷に移動）—獅子橋の南京大排（木へんに當）で夕食—（タクシー）—西苑
8月24日：南京大学鼓楼キャンパス・ラーベ旧居—広州路で高速鉄道チケットを購入—（地下鉄1号線で珠江路から玄武門へ移動）—南京市都市建設計画展覧館—昼食—玄武湖公園内を玄武門から環洲・菱洲経由で解放門・鶏鳴寺まで徒歩移動—（市バスで珠江路へ移動、地下鉄1号線・10号線で移動）—オリンピックスタジアムを一瞬だけ見る—（地下鉄10号線・2号線で新街口へ移動）—ハーゲンダッツで休憩—（地下鉄1号線で三山街へ移動、徒歩）—夫子廟の咸亨酒店で社会学院の張玉林教授、文学院の張伯偉教授・曹虹教授と夕食—（タクシー）—西苑
8月25日：（タクシー）—中山陵—（徒歩）—明孝陵、昼食—（市バス遊2系統で下馬坊駅、地下鉄2号線で上海路へ移動、タクシー）—西苑で荷物受領—（専用車）—南京駅—（高速鉄道）—上海駅—（上海地下鉄1号線で人民広場駅へ移動、徒歩）—錦江之星ホテル・南京路步行街店チェックイン—上海第一食品商店の南翔饅頭店で夕食、ショッピング—（徒歩）—外灘〔通称：バンド〕夜景—（徒歩）—ホテル
8月26日：（タクシー）—金陵東路埠頭—（黄浦江フェリーで黄浦江を横断）—東昌路埠頭—（黄浦江フェリー、徒歩）—豫園—城隍廟—（徒歩、地下鉄10号線で豫園駅から南京東路駅へ移動、徒歩）—ホテルで荷物受領—（地下鉄2号線で人民広場駅から浦東国際空港駅に移動）—搭乗手続き
- ④ 今回実際に行ってみて、行く前に抱いていた中国に対するマイナスの印象が和らぎました。農学部は中国の多くの大学と提携を結んでいるので、将来研究目的で中国の大学に留学してみるのもありだなと思うようになりました。